

シカク月報



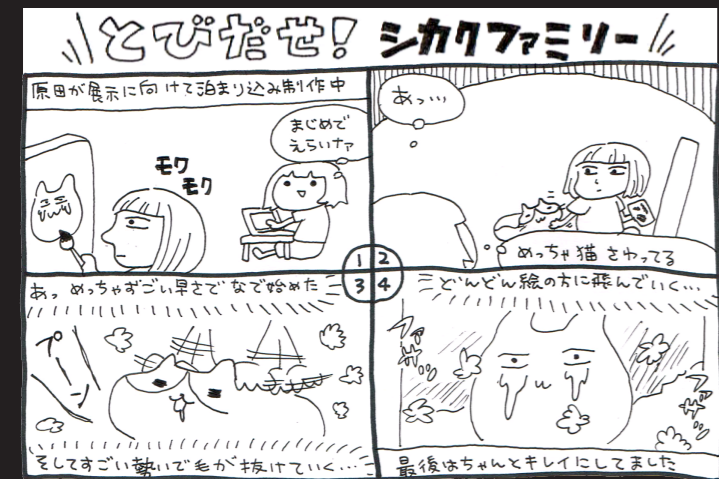
2015/09
#31

こんにちはシカクです！ 毎日暑い日が続きますが、シカク店内では**コマツシンヤ個展「夏の博物誌」**を開催中！コマツさんの爽やかで涼しげな夏のイラストの見てると体感温度が2度は下がります。おかげで今年の夏はなんだかエンジョイできている気がするぞ～。会期は8月31日まで。そしていよいよ8月27日からは

原田ちあき個展「じだんだんす」

がスタート！シカクの人も原田ちあきと共に大阪を飛び出し、高円寺のちょこれーとちわわというドーナツ屋さんの2階で展示を行います！東京展は8月31日まで、その後はシルバーウィークに大阪のシカクで巡回展も開催！さらに個展初日には、シカク出版から原田ちあき初のちゃんとした

画集&制作展示写真集も発売！精魂尽きながらド根性で作ったんですが、おかげでかなり良いものになっているんじゃないかと思えます！みんな買ってね～！！チミドロがフィーチャリングしてくれた公式テーマソングのPVも公開中！そんなわけで今月は関東人も関西人もどうぞよろしく！



告知の園

シカクで開催されるイベントや、出張店舗で参加するイベントのお知らせです。

原田ちあき個展 じだんだんす

原田ちあき個展 じだんだんす

2015年8月27日
8月31日@高円寺ちょこれーとちわわ
2015年9月19日
9月23日@大阪中津シカク

悪口を題材にしたイラストやグッズ、大森晴子とのコラボなどで話題の最先端にいるイラストレーター、原田ちあきの東京初個展を高円寺ちょこれーとちわわで、大阪個展を中津シカクで開催！！アクリル絵画や初期漫画作品の原画、インターネットで公開したイラストのパネルなど、これまでの原田ちあきの活動の集大成となる展示を予定しています。ちあきすとのみんな、こそぞれ！

【東京】高円寺ちょこれーとちわわ
2015年8月27日(木)～8月31日(月)
【大阪】中津シカク
2015年9月19日(土)～9月23日(水)

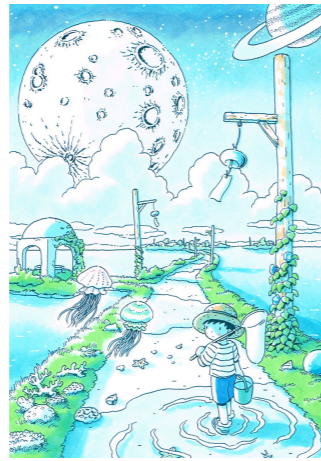
画集「ひとりずもう」制作展示写真集「おおげんか」 個展初日8月27日にシカク出版から発売！



展示詳細は特設サイトから！

<http://uguilab.com/exhibition/201509/>

「つるまき町夏時間」発売記念 コマツシンヤ個展 夏の博物誌



鉱物、植物、海、宇宙…静的で少し不思議な世界を鮮やかな色彩と緻密なタッチで描く漫画家・イラストレーター、コマツシンヤさんの新刊「つるまき町夏時間」(新潮社)発売を記念し、自身初となる個展をシカクにて開催！！夏をテーマに過去に制作した原画や描き下ろしイラストなど、滅多に見ることのできない貴重な原画を大公開します。夏を爽やかに彩る素敵な作品を、是非ご覧下さい！

【期間】
2015年8月8日(土)～8月31日(月)

展示詳細は特設サイトから！

<http://uguilab.com/exhibition/201508/>

シカク月報が大体いつでももらえるお店

<p>【大阪】 (古本屋)ふれこぐ堂 スパイスカレー SOMA HAWAII RECORD (ハブライ雑貨と文房具)エフロノット 雑貨屋ミクちゃん (バー)たこ焼き マーガレット (イベントスペース)FLOAT (日替わり喫茶店)PORT ヴィレッジヴァンガード八尾西武店 ヴィレッジヴァンガード梅田ロフト店 ヴィレッジヴァンガード京都西院店 FOLK old book store アオツキ書房 ロフトプラスワンウエスト なんば紅鶴 シネ・ヌーヴォ 塚本エレパティ green pepe</p>	<p>【神戸】 トンカ書店</p> <p>【京都】 ありの文庫 UrBANGUILD</p> <p>【関東】 (書店)模索舎 (書店)タコシエ まんまみじんこ洞 (古着屋)ちょこれーとちわわ (イベントスペース)ロフトA 東京カルチャーカルチャー ブックギャラリー ポボタム ビリケンギャラリー</p> <p>【那覇】 G-Shelter(ライブハウス)</p>
--	---

■DMやフライヤーを交換設置してくれるお店・スペース大募集！！ご希望の方はシカクまで送りつけてください。うちも送ります。

最近の新作入荷！

■漫画、アート
 さもまん 聖サモハン女子家政大学漫画作法研究会 vol.4 500円
 水内義人「ライトアーカイブス膝版」1944円
 鷹林ケイ「あなたの瞳に映す世界」200円
 堀口いづみ「DESUCHA!!」602円

■小説
 あさくらとうき「Antique Shop」700円
 うく椅子3 迷路篇、うく椅子4 男の娘篇 各600円

■カルチャー
 TRASH-UP!! vol.22 1500円
 模索含びいき vol.1 200円

■セクシャル
 Novia Novia Magazine vol.4

■旅、ローカル
 立松カナコ「しのそのへ vol.6 岩手県」500円
 小野和哉、かとうちあき「今日も盆踊り」(タバックス)1600円

■日常
 北野留美「オバケダイガク臨時増刊 鏡像新聞」200円

■食べ物
 趣味の製麺 3号 1700円

■オカルト
 とうもろこしの会「怪処9号」1000円

■CD、カセット
 Yousei「BROKEN WOODS & SOME PRAYERS」1500円
 Ueda Takayasu「River End」1000円
 鈴木庸聖「Japanese music 1940s - 1950s」500円
 音に敏感「シカクさん限定3曲入りシングル」500円
 マーライオン「ライブ盤 19歳」1500円
 マーライオン「日常」500円

■雑貨
 内山ユニコ「缶バッジ 顔ちゃん No.3」417円

シカク

8月のべすとせら～

- 1 ヤマト「新感覚冒険ゲームブック デルタストーリー」ケイスケ
- 2 町あかり「町あかり全曲集 その1」
- 3 日本給水党 UC「ポケット版『団地の給水塔』図鑑」
- 4 NEKOPLA「よくわかるエアコン配管観察」
- 5 ジオラマボックス「ユースカ4号」
- 6 スケラッコ「磯部チクワちゃんのお話」
- 7 六条くるる処女歌集 恋愛アレルギー
- 8 あしたの箱「米粉 LOVERS のレシピブック」
- 9 After Dusk #2
- 10 廃墟探索部「MIDGURD2」

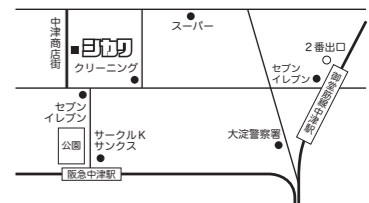
(シカク出版の本、シカクで当月展示をした作家の作品、雑貨をのぞいたランキングです)

シカクで本・CD・作品を 売りたい人募集

シカクでは「一般の店にないテーマや思想を扱った本」「一般受けはしないが非凡なもの」「唯一無二で判断に困るもの」などを中心に、委託販売する作品を常時募集しています。取扱アイテムは本・CD・DVD・ゲームなどがメインです。ジャンル・内容・言語などは一切問いません。雑貨・小物類は一般的なてづくり小物と異なるものに限り受け付けていますが、スペースの兼ね合いでお断りする場合があります。納品の前に簡単に審査をするので、作品の全部または一部(データでもOK)をお送りいただくか、店頭までお持ちください。売れるかや上手下手ではなく、本気度や作った目的などを見る感じです。委託の条件などはホームページ(シカクで検索すると出てくるよ)をご覧ください。店頭や電話で直接お尋ねください。

シカク月報2015/09 第31号

発行:シカク 編集:ピーコ、たけしげみゆき
住所:大阪市北区中津3-17-12
中津商店街の真ん中らへん
時間:午後2時～8時ごろまで(火水定休日)
電話:080-4010-6203(巴)
メール:shikaku@uguilab.com
HP: http://uguilab.com/shikakutop.html

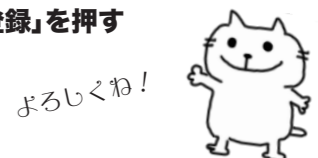


シカクオンラインショップのメルマガ

いつでも購読募集中!

シカクに入荷した商品の最新情報やじんわりくるコラムなどを隔週金曜でお届けする、シカクオンラインショップメルマガの購読いつでも募集中! 編集長は3月からシカクのCD・音楽担当を任命されたほか、フリーライター、バンドマン、酒飲みなど様々な肩書きを持つスズキナオさん。今すぐ登録してサブカルなのになんかゆるい絶妙な空気を吸収し、荒んだ心を癒そう!

- ### 登録方法
- ①シカクオンラインショップにアクセス(検索してね)
 - ②ページ上部のメニューから「メールマガジン」を選ぶ
 - ③メールアドレスを入力して「登録」を押す
 - ④月曜まで待つ



執筆者紹介

みんな日頃から何かしらの活動をしている人ばかりなので、気になった人がいたらチェックしてみてくださいね。

物干竿之介
東京・高円寺在住。カタハパワークス代表。2010年頃からフリーペーパー『So not A !!』を不定期刊行。短編漫画の執筆や雑貨作りも行う。バンド余命百年のデザイン担当。夏限定で物干・T・シャツ雄に名前を切替中。秋ごろにカタハパワークスで初の展示をやります!

しらきたかね
天満でた焼き屋を営む。また、無類のジャズ好きが高じて、新進気鋭の音楽ライターとしても多方面で活動している。関西ジャズ無料情報誌『WAY OUT WEST』でトラッド・ジャズに関するコラムを絶賛連載中。座右の銘は創造と啓蒙。

ナツキいぬコ
「チュンチュンガオピッピ」という名前でコミティアを中心に漫画を発表しています。現在は「きんのきつつきの」というタイトルの動物中学生の不条理漫画をシリーズで描いています。
http://ccgp.main.jp

奈良絵里子
1986年生。てんびん座。引っ越しばかりの人生で最近兵庫県民。短歌も好きだがパンも好き。

巴大樹
シカク店長。たまに音楽をやったりもしています。近所の理髪店でモヒカンにしたら、やりがいのある仕事だったらしくすごく喜ばれました。

たけしげみゆき
シカクの書籍担当・副店主。漫画を描いたり、生きていくためにデザインの仕事をしたりもしている。宮城蔵王キツネ村に行きたい。

ファンシーコラム

子どものときにやりたかったこと第一位は、日本一周でみんな異論はないと思う。

中学三年生の時、ぼくは高校受験を併願から専願にし、1ヶ月余裕を作ってその間に日本一周をしようと思った。地図と荷物を持って、お気に入りのママチャリで出発した。お金はわずかだが、なんとかかなと思った。とりあえず向こうに行こうと思った。自分の知っている街の向こう側へ。

だいぶ走っただろうか。だんだん座っているお尻が痛くなってきた。けど平日のみんなが授業を受けているときに自分だけ風を切って走っているというのはとても気持ちよかった。

話はそれが大学にはいって羽根田くんという友達が出てきて、同じことを言っていた。

彼はとてもおとなしい性格なのだが、自転車を漕いで景色が流れて行くことや、知らない世界へ自分の力で行けるというのが気持ちよくて、十五のときからバイトをして講習を受け、十六歳の誕生日に自分でバイクを買ったらしい。

バイクといえば男らしいとかヤンキー文化のイメージだが、彼は純粋に「自転車でこんなに風景が流れて楽しいのにバイクだったらどれだけ楽しいんだろう」と思っていたそうだ。(結果はバイクだと景色が流れるのが早過ぎて見る余裕なんて全くなかったそうだが)

話は戻るが、ぼくはお尻が痛いながらも進んだ。ちなみに地図をみることは早い段階で諦めていた。全くどこかわからず、あと全国地図の見方が絶望的にわからなかったのだ・・・お尻が痛い、お腹もすいた(ご飯は誰か人の家に泊めてもらって食べれるものだと思っていた)、足も疲れた、日が暮れてきた・・・あと景色が知らない所ばかりで飽きてきた・・・と思った矢先、ふと知っている場所にたどり着いた。どこかで見たことあるぞ。。。ここはいつ来た?どこだ?

あ! 母親の工房だ! 当時母親は陶芸の工房を伊丹に持っていた。

つまり、ぼくは十時間くらいかけて、吹田~伊丹という道順を知っていたら1時間かかるかどうかの距離をうろろろしていたのである。

こうしてあまりの方向感覚のなさにぼくの日本一周の夢は破れ、第二のヒッチハイクをするという夢に向かっていくのだった・・・

広告主募集!

シカク月報を毎月楽しみにしており、かつ宣伝したいことがある方には広告出稿がおすすめ。1000円でこの「広告主募集」欄と同じサイズの広告(40mm×100mm)、2000円でさらに倍、3000円でA6一面分の広告(148mm×105mm)が出せます。もらった広告費はシカク月報の印刷代や郵送費、よみもの寄稿者の原稿料などに活用されます。興味のある方はshikaku@uguilab.comまでご連絡ください。

カニコーセンの 中津の思い出

今朝(8/13)嫁&子らはお盆の帰省で金沢の実家に行ってしまい、私は仕事で居残り。なので加古川の自宅では2日ばかりの独身貴族で、ささ、どんな悪いことしたろけ、焼豚山盛り買うて全裸で喰うたらけ、近所の目も気にせずデリヘル呼んだろけ。しかし銀行にもマジックテープ式の財布にも、ハメ外し資金の余裕はなく、冷蔵庫の残り物を如何に自分好みの味付けにして喰うか、まっ焼肉のタレかけるんですけど、それくらいしかシングルライフの楽しみがない、そんな2015年のお盆です。つづきです。13年前の夏、金沢の嫁さんの実家で結婚に関する協定のギ、滞りなく済み、その後、実家のお母さんの案内で金沢の忍者寺を見学する。勿論お母さんとはこの日が初対面なのですが、第一印象としては、当日のお母さんの出で立ちがノースリーブシャツに薄茶色のグラデーションかかったメガネだったのもあって、ヘアバンドはしていないけど、立川談志に見えて、妙な威圧感。後日解ったことで、ノースリーブにグラデーションメガネはお母さんの定番で、イコール常時、立川談志な方だったわけですが、本人に負けず劣らずの歯切れの良いモノ言いをされるお母さんでして、今となっては非常に頼り甲斐のある存在でもあります。忍者寺で誘導員のカラクリ

ライブのお知らせ

日時: 2015年8月30日(日) 18時開演(17時開演)

会場: 大阪市北区中津3-1-6 1F 中津商店街内

www.freemanosaka.com/nakatsuyosei/

説明なんか聞いている最中、わたしは力みもあり、カラクリに今ひとつ興味がわかず、ずーっとお母さんのサングラスの奥の具合がどうなってるのか、怒ってないのか、そればかりが気になる。それに私は20代中頃が一番セックスしたい盛りの時期で、焼き鳥、焼酎、パチンコ、ピンサロ以外、殆ど興味がなく、前田利家がどーだこーだと云われても眠くなるばかり。しかし実家のお母さんなりの持てなしないのは解るので、誘導員のカラクリ説明にはナルホドと頷く。忍者寺が済んだあとは、近くの古時計の博物館にも案内してもらいました。



奈良さんの短歌と周辺 第八回

耳鳴りの中で聞こえた裏声はバンドに負ける 光れアイドル(奈良絵里子)

「せのしすたあ」という福井の3人組ローカルアイドルのライブがとも良かったのでそのことを書くこととします。アイドルファンって、一つの業界という伝統がある気がして、わたしがここで何かを言うのはちょっと気がひけるんだけど。

「難波ペアーズ」であったこのライブはなんと生演奏。アイドルのライブって基本的に音源を流して歌うのがほとんどだし、むしろ口パクも多いんだけど、今回は初めて生のバンド演奏で、生歌。狭いペアーズの中で演奏がキーンと始まって、どうなるのかなーと思っただけ、歌声はつまみえす、超満員の会場内で姿も途切れ途切れにしか見えず、さらに冷房が故障して地獄のような暑さで、うまく踊ったりもできず、気持ちよさはほど遠い環境なんだけど、でもその中で、まあちゃんという子がちょっと無気味にオタクを煽ったりしてる表情を見てると、不思議な感動みたい

なのがわき上がってすごく変な気分だった。きっと彼女たち自身も、声が出てないことが生バンドに負けてる音の大きさというよりも場数とか場の作り方(こと)がわかっていて、でもやりたいことイメージが頭にはあって、そこに向かってぐっって手を伸ばしているイメージが、そこにないに伝わってきた。成長過程の若い女の子が頑張ってる姿に励まされる「なんていうと陳腐すぎるんだけど、でも」なんてこの子たちはこんなところでこんなことやってるんだろう? って言葉が浮かんで、たぶん本人たちもそう思いつつやってる部分があるんだろうなって思っただけ、生って尊いなあ、人間はかわいいなあって感動しちゃった。

ちなみに汗だくで会場を出たら耳がおかしくて、耳鼻科に行ったら、突発性難聴になっていたので、今も薬を飲んでます。みんなも爆音ライブに行ったら気を付けてね!



余命百年初の全国発売音源が出来ます! 様々な特典が付きますので耳が早いアナタ、要チェックです! 詳しくは yomei100nen.com にアクセスしてみてくださいね。

End